
太鼓の達人X 爆撃!波導の勇者ルカリオ

HASSE

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

太鼓の達人X 爆撃！波導の勇者ルカリオ

【Nコード】

N9282Z

【作者名】

HASSE

【あらすじ】

山手線町を舞台にどんちゃん達が馬鹿騒ぎ！？

なにもかもぶっとんでるこの物語をとくところんあれ！

和田どん「読者に対して上から目線じゃね」

読者に読んでほしいように宣伝してるだけなんだけど…

第一話　これがはじまりだ！（前書き）

記念すべき第一話です！（キャラの地味な登場は気にしない）

第一話　これがはじまりだ！

2011年（プロローグで20XX年て言ったけどやっぱやめた）

12月29日　AM9：00　山手線町

今この町はパニック状態になっている。何故なら：

ルカリオ「ふん！今日こそ恐怖のどん底に落としてやるよ！」

町の住民「うわああああああああああ！」

ルカリオ「はっはっはっ！みろよ！糞人間共が悲鳴をあげてやがるぜ！」

町の住民「誰か医者呼んでこい！あいつの頭がイカレまくってるぞ！」

和田どん「ルカリオ！お前の頭は最初からイカレてると思ってたが、まさかここまでイカレてるとは思わなかったぞ！」

ルカリオ「なっ！くそ！調子にのりやがって！」

和田どん「なんだよ！お前のことを思って…」

ルカリオ「ただ馬鹿にしているだけだろ！」

今日、この町で熾烈な言い争いが繰り広げられていた

そして開始から30分経過：

ルカリオ「お前ら今度こそ覚えてろよ（泣）！」

和田どん「世界征服する奴がこれくらいで傷つくなよ！」

ルカリオ「うるせえ！」そしてルカリオはその傷ついた心でアジトに帰ったのであった

AM9：30　和田家

クラッシュ「あいつ強いくせに傷つきやすいなあ」

和田どん「ルカリオ種は打たれ弱いんだろ」

クラッシュ「ていうか殺してやる殺してやるってねーでさっさと

殺せやみたいな感じだよな」

和田かつ「悪口言いたい放題か！」和田どん「かっちゃん駄目だよ
ゝあいつは世界征服をするつまり悪役だぜ？そういう役割を持つ奴
があんな打たれ弱かったら小説として成り立たなくなるだろ」

和田かつ「そだな」

クラッシュ「あっさり認めるなよ！」

AM10..00 廃墟

ルカリオ「くそ！くそ！くそ！」

ルカリオは一人でくそくそ言っていた

ゾロアーク「また、口で追い返されたのか…。あいつらはなかなか
心が折れねえなあ」

ルカリオ「ゾロアーク！今度はお前も一緒に来い！」

ゾロアーク「やだよ。人間共に近づきたくねーからな」

ルカリオ「こっちだっていやでも近づいてんだよー！（泣）」

ルカリオは泣きながらゾロアークにお願いをしていた

AM10..30 和田家

和田どん「大声出しすぎて喉痛い上腹減ったなあ」

和田かつ「まだ十時だよ」

クラッシュ「喉痛いってどんだけ大声出したんだよ？」

和田どん「あいつを追い払うために犠牲になった喉だぞ？俺がいな
かったらあの言い争いは三時間ぐらいは続いたと思うぞ」

クラッシュ「そこまで続かねーよ。」

皆でわいわい言ってる最中…

ルカリオ「くそ！あいつら！今度こそは」

PM1..30 和田家

和田どん「ぶあらへばく食った食った！」

和田かつ「ぶあらへばくって何！」

和田どん「うるせえな！なんて叫ぼうと人の勝手だろうが！うわあ
あ！」

クラッシュ「何がしたいんだよ」

和田どん「それよりさ、いいの？」

和田かつ「何がだよ」

和田どん「一話目からこんな感じていいのかって。さすがにこれは
グダグダだよ。G D G D！」

クラッシュ「没一話よりかはいいんじゃないかとオイラは思う」

没一話は今度お見せします

和田どん「これも正直没だよ。プロローグも没だ」

和田かつ「いや、プロローグはもういいだろ」

皆がわいわいしている最中：

ルカリオ「ああ腹立つ！絶対殺してやる！」

P M 3 .. 0 0 和田家

和田どん「3時のおやつだ！T r i c k o r T r e a t！」

和田テツオ「それもう終わってるよ！そんな事言わなくてもお菓子
なんかあげねーよ！」

和田どん「ケチが！死ね」

和田テツオ「お前なんかいったかあゝあゝん！」

和田どん「死ねつつたぜあゝあゝん！」

皆がお菓子で騒いでる最中：

ルカリオ「くそ！くそ！くs（蹴 和田どん「お前はさっきからな
なんだY O おおう！」

P M 6 .. 3 0 和田家

和田どん「Take a bath」

和田テツオ「一人で入って沈め」

和田どん「ひどいな（驚）」

和田テツオ「毎日同じこと言うからだろ」

和田どん「お前の事だから『うるせえな！いいから入れ！』みたい
なこというだろうと思ってたのになあ：結構傷ついたよ」

和田テツオ「あそ」

和田どん「……………」

お風呂で言い争いしている最中：

ルカリオ「……………」

道端で倒れ込んでいる

P M 7・30 和田家

花ちゃん「夕飯できたよ」

和田どん「えっ！勇者が出て来た！？」

花ちゃん「死ね」

和田どん「皆ひでえよ」

クラッシュ「全部自業自得だろ」

和田どん「なぬっ！」

花ちゃん「今日の夕飯は…」

和田どん「髪の毛ラーメン」

花ちゃん「散れ」

和田かつ「鉛筆そば」

花ちゃん「砕けろ」

和田テツオ「布ハンバーグ」

花ちゃん「砕け散れ」

和田テツオ「どんとかつのミックスバーション！？」

クラッシュ「どうでもええわ」

花ちゃん「正解は：花ちゃんスパゲティー！」

和田どん「つまんな」

ドゴッ！！

和田どん「ぶげ！」PM10..00 和田家

和田どん「寝る前と言ったら枕投げだろ！」

クラッシュ「リンゴバズーカ！」

和田かつ「滅びのバーストストリーム！」

和田テツオ「我が生涯に一片の悔い無し！」

和田どん「枕投げじゃねーし、一人勝手に死んでるし」

花ちゃん「さっさと寝ろ！」

ドゴッ！バキッ！ガスッ！

これが和田家の基本的な1日である

ルカリオ「……………（泣）」

第一話　これがはじまりだ！（後書き）

次回予告

テツオ「今年もそろそろ終わるなあ」

どん「この小説も終わるんだなあ」

終わらねーわ！（汗）

次回！第二話　今年最後の日

どん「始まって早々今年が終わるって何だよ」
一秒でも早くやりたかったんだよ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9282z/>

太鼓の達人X 爆撃!波導の勇者ルカリオ

2011年12月29日01時55分発行